

澤田洋典駐アンゴラ日本国大使の天皇誕生日祝賀レセプション挨拶，
12月5日18：30

最初に，来る12月23日に84歳を迎えられる天皇陛下の誕生日を来賓の方々と祝うことができ感謝しております。

私が日本国大使として着任してからちょうど1年が経過しました。この一年は実りある一年であり，駐アンゴラ日本国大使として公務にあたることに誇りを感じます。

政治面においては，日・アンゴラの要人が多くの対話の機会を持ちました。9月には，8月に平和的・公平的・民主的な選挙を経て当選したジョアン・ロウレンソ大統領就任式において，佐藤外務副大臣が安倍総理特使として派遣され，ロウレンソ大統領と会談を行い，両国の二国間関係，とりわけ経済面での関係をさらに強化することに合意しました。

ロウレンソ大統領は大統領就任演説の際，今後アンゴラが関係を深化させていきたい国として日本を挙げました。アンゴラ政府によって示された我が国への信頼に応えることができるよう尽力していく所存です。

2018年，日本においてTICAD閣僚級フォロー会合が開かれます。翌2019年には横浜においてTICAD7が開催され，アンゴラ政府首脳に参加を期待します。

経済・経済協力分野では，アンゴラ経済の発展並びにアンゴラ人の生活の質改善のため様々なプロジェクトが実施されました。日本企業のNECが高い技術を用いて，アフリカで初めての海底ケーブルの陸揚げを行いました。そのほか，技術協力，インフラ部門における交流及び融資，教育，保健，エネルギー，地雷除去において大きな功績が残されました。またマランジェ州の綿花生産プロジェクトは綿花生産の増加及び経済の多角化に貢献すると確信しています。

また，様々な文化イベントも開催されました。アンゴラ及びに世界において人気が高まっている日本食の普及イベントを行った他，アンゴラ女子ハンドボール代表チームが日本に遠征し，私の故郷である，2019年世界女子ハンドボール選手権の開催地である熊本県で開かれたトーナメントに参加しました。直近では当地において空手大使杯，日本のポップカルチャー紹介イベントが行われました。

2020年、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。日本政府は「Sports for Tomorrow」プログラムを促進し、途上国への支援を行っています。

これまでに述べた成果に加え、その他の日本の活動については、会場入り口にある写真展示コーナーにて紹介しています。是非とも日本大使館、JICAに加え、トヨタ、丸紅、住友、パナソニック等日本企業の活動について御覧になっていただければ幸いです。

最後となりましたが、私が30年前に当国を初めて訪れた際に宿泊したプレシデントホテルの本レセプション開催への協力に感謝します。また、今日のために寿司職人を派遣してくれたレストラン Kook にも感謝します。

天皇皇后両陛下のご健康、我々の健康、そして日・アンゴラ二国関係の更なる発展を祈り、日本酒で乾杯をしたいと思います。乾杯、サウージ。ありがとうございました。